

甲 177	「憲法上の権利」の作法 第3版	写 し	2016.8.1	小山剛	憲法上の権利の制限の憲法適合性の審査において、保護範囲からの除外は基本権制限の正当化に対して要求される厳格な違憲審査を潜脱する恐れがあることから、保護範囲を広く捉えた上で制限の正当化の段階で最終的に保障される範囲を確定するというアプローチを基本とすべきであること。憲法上の権利の保護領域は、憲法自体から獲得されなければならない、下位の法律から帰結してはならないこと。
甲 178	医事法講義[第2版]	写 し	2023.10.10	米村滋人	特定の医療行為を規制する法令は患者が希望しても当該医療行為を受けられないという意味で自己決定の制約にあたり違憲性が問題となり得ること。

以上